

開設10周年を迎えて

理事長 三村佳壽子

社会福祉法人緑樹福祉会は、法人として初めての事業として、平成20年12月1日大津地区に多機能型事業（生活介護事業・就労継続B型事業）「わかば園」開設いたしました。その後塩屋地区に平成25年2月15日より短期入所事業「ぷくぷくほーむ」平成25年11月20日より放課後等デイサービス「てくてく」を開設いたしました。

社会福祉法人としての認可をいただき今年度は10周年の節目を迎えております。

今年度は、赤穂特別支援学校卒業生3名との利用契約をさせていただきました。

わかば園は大津地区旧保育所を使用させていただいておりますが、10年の間に利用者増に伴い手狭になっております。就労をご利用の皆様には、平成26年に出張所を設け少しではありますが、ゆとりある作業空間を確保させていただいております。生活介護をご利用の皆様にも落ち着ける場を提供させていただこうとの思いから出張所を設け、準備をさせていただいております。



園内で見事に咲いたフジの花

当法人の運営方針を再度心に刻み、地域社会の中で個人としての尊厳を保持しつつ自立した暮らしを目指すための支援を推し進めてまいりたいと願っております。

障がい者が個人としての尊厳を保ちながら生きていける共生社会は、手をつなぐ育成会も目指すあるべき姿の社会だといえます。その為にもわかば園自体がまず小さな共生社会を完成し、利用者の皆様の豊かな暮らし、豊かな人生を実現できるよう職員の福祉意識向上を促す研修の機会を増やし、障がい者に寄り添う支援を目指し、さらに前進してまいります。

花見に行きました

例年になく開花の早かった今年の桜。園内の桜も見事に咲きました。

恒例のわかば園の花見を4月6日（金）に赤穂市野外活動センターで行いました。センターから海岸までの坂道脇の桜を満喫しました。センターで、昼食後、ゲームで盛り上がりました。ビンゴゲームは、「リーチ！」「ビンゴ！」と歓声が響きました。

皆と食べるお昼は、エビフライもあってとてもおいしかったな。



<生活介護の様子> 楽しい音楽療法

毎週水曜日に県認定の音楽療法士の山村先生に指導頂き、音楽活動をしています。利用者さんの好きな曲は「ぼくのミックスジュース」「南の島のハメハメハ大王」です。 マラカス、太鼓、キーボードなどの楽器で楽しむのは「365日の紙飛行機」「花は咲く」などです。



<就労Bの様子> 潮干がり、楽しかった

ゴールデンウィーク中の5月1日、就労Bでは余暇活動として、昼食に肉料理を食べ、その後唐船海岸で潮干狩りをしました。干潮には少し早かったので、海水につかりながらもアサリをとりました。つい、水と戯れた人もいましたが。

持ち帰りのアサリは翌日さぞ美味しいお汁になったことでしょう。



生活介護の出張所開設

生活介護の利用者の増で、わかば園の活動室が手狭になっていました。そこで、ゆとりのある生活空間が望まれていました。

そこで、市内中広144の1に11坪の出張所を開設することになりました。自閉症の方を中心の活動場所として、作業机は間仕切りのある個人専用の

ものにするなど、構造化を図りました。ここは、愛称「とらっきー」と命名しました。阪神ファンが多いものでして、「とらっきー」にも寄ってみてください。



西播磨フロンティア祭2018 販売参加

4月29日(昭和の日)に兵庫県政150周年記念事業の一貫として、光都プラザ前芝生広場で好天の下、西播磨フロンティア祭2018が開催されました。

わかば園も「ふるさとバザール」に参加49団体の一員として参加しました。

<参加した利用者の声>

- * 知り合いの施設の人もいて、思うように掛け声がかかれませんでした。Ku
- * ホウレンソウが売れてよかったです。Ka



文責: 中本